

ホットな話題

Topics

東中野4丁目にあるムーンロード商店街(東田敬子会長)の街路灯を、デザインLED街路灯に変えるお手伝いをしてきました。街路灯が完成し、これを機にはじめての商店街まつりを開催することに。東京テクニカルカレッジ(三上孝明校長)の学園祭(テラフェスティバル)と地元の商店街まつりのコラボが実現しました。次回に向けてのアイデアも飛び出し、さらなる展開が楽しみです。



NEW KOMIITO 公明党 確かな政策! 抜群の実行力!

白井ひでふみ NEWS



発行者: 中野区議会公明党議員団 中野区中野 4-8-1 中野区役所 3F 公明控室



新しい「白井ひでふみNEWS」が完成しましたのでお届けいたします。今回は平成25年第3回定例会の議会質問より、災害時等の情報をお伝えする機能「防災行政無線」の再構築について、また白井ひでふみの提案による現在進行中の施策として、区の施設内にある「自動販売機」を活用した行政コストの削減と災害対応力強化と、本年6月より新しく導入された「胃がんハイリスク診査」について紹介しています。ご高覧頂ければ幸いです。2013年は皆様にたいへんにお世話になり、ありがとうございました。2014年も御指導御鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。白井ひでふみ

防災お役立ち情報

いざという時 (緊急連絡先一覧)

- 救急医療機関の案内 東京消防庁テレホンサービス
Tel 03-3212-2323
- 24時間医療機関案内 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」
Tel 03-5272-0303
- 警察への事件・事故の急報(警察の通信司令センター)
Tel 局番なしの 110
- 火事・救助・救急車(災害救急情報センター)
Tel 局番なしの 119
- 災害用伝言ダイヤル 局番なしの 171
- 防災行政無線の放送内容を電話で確認
Tel 03-3228-5726

普段からの備え

- 無料簡易耐震診断
Tel 03-3228-5576 (建築分野耐震化促進担当直通)
- 木造住宅の耐震改修(補強設計費等)助成
Tel 03-3228-5576 (耐震化促進担当)
- 家具の転倒防止器具の無料取り付け(高齢者・障害者)
Tel 03-3228-5576 (耐震化促進担当)
- 緊急輸送道路等沿線建築物の耐震改修等助成
Tel 03-3228-5576 (耐震化促進担当)
- 中野区防災情報メール
ご登録いただくと災害・気象情報等の配信が受けられます。
nakano-entry@jijo.bosai.info
- 中野区安全・安心メール
ご登録いただくと区内で発生した犯罪等の情報配信が受けられます。
nakanoku@req.jp



災害等における区民への情報伝達力の強化を図れ 平成25年第3回定例会質疑より(要旨)

白井

気象庁は最大級の危険に対して警戒を呼びかける「特別警報」の運用を始めた。災害時における住民への情報周知は、これまでの市区町村の「努力義務」から「義務」となった。住民への情報周知方法の最も大きな柱は、屋外に設置されたスピーカー「防災行政無線同報系」であるが、電波帯の使用期限が切れることから、現在のアナログ方式からデジタル方式への移行を進めなければならない。そこで――

- ① デジタル化にあたり文字による情報伝達、電子掲示板を導入してはどうか。
- ② 機能の選定とあわせ、電子掲示板の設置場所の検証をすべきではないか。
- ③ バッテリーの容量を増やすなど、停電時の対策を強化すべきではないか。
- ④ 室内でも聞くことができる戸別受信機の導入や、購入助成を検討してはどうか。
- ⑤ システムの統一による発信作業の連動・簡素化、24時間365日の体制を検討すべきではないか。
- ⑥ 災害に強い情報のライフラインの構築、情報取得方法の周知が重要ではないか。

区長

- ① 音声と文字情報の利点を考慮し、他の情報発信方法も含めて検討していきたい。
- ② 文字情報の発信の際は、機材や配置場所の検討が必要となる。
- ③ 新規システム導入の際には検討したい。
- ④ 全戸配備はしないが、防災会リーダーなどへの配備は、他の情報発信方法の有効性も検討した上で考えていく。
- ⑤ 瞬時に情報配信できるシステムの導入も検討していきたい。

中野区議会議員

白井ひでふみ

中野区中野4-8-1 中野区役所3F 公明党控室

区政に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

Tel 03-3228-8875 Fax 03-3389-8680

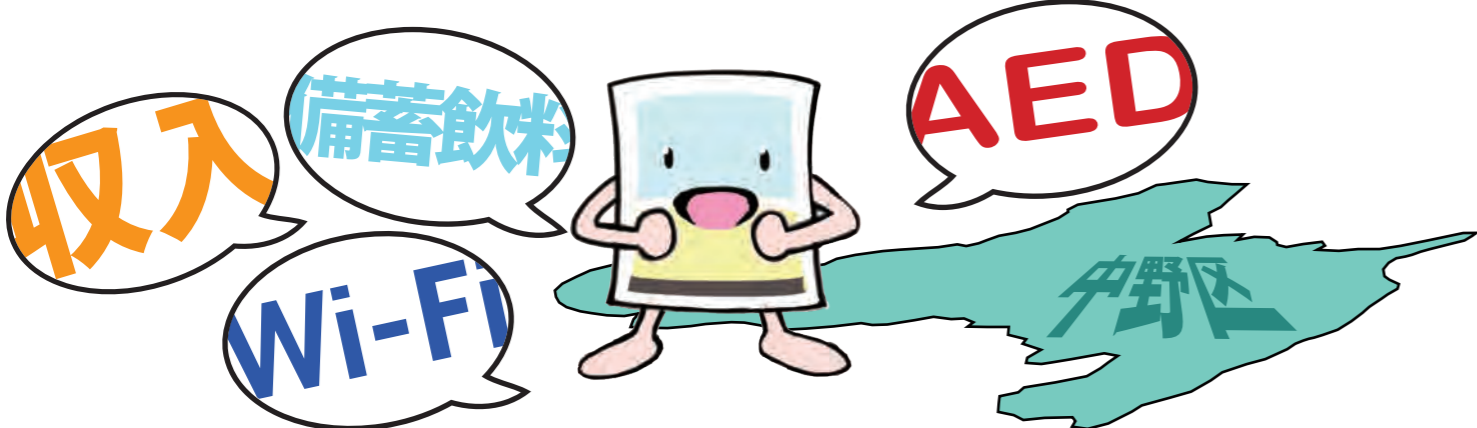
http://www.shirai.ne.jp

行政コストの削減と災害対応力(備蓄飲料)の強化が実現 AEDやWi-Fi機能付き自動販売機の導入も

白井ひでふみが提案してきた、区有施設における飲料水などの自動販売機の設置に**公募制(入札制度)**を導入する施策が本格実施されました。平成24年7月に試験導入がなされ、勤労福祉会館内の自動販売機2台、従前の年間契約金額37,824円が1,530,400円で落札、契約締結されたことを受け、区有施設の自動販売機の契約全体が見直されたものです。今回、**自動販売機37台、従前の年間契約総額約21万円が21,401,163円(年額)の落札総額**となりました。予想を大きく上回る**約75倍の税外収入**となり、区の歳入確保に毎年貢献することとなります。

また併せて、**全ての自動販売機を省エネ等環境対応とし、機内の飲料を災害時に無料提供する契約**がなされました。通常、備蓄飲料の確保のためには、飲料購入費、保管費用が掛かり、賞味期限が切れれば飲料処分費、飲料再購入費が必要になります。しかし、今回の提案は、日常の流通の中で飲料を備蓄できるため、一切費用が掛かりません。この施策で、概ね**数万本の飲料が、無償で確保**できたこととなります。

さらに多機能型自動販売機の導入も提案してまいりました。かみさぎ特別養護老人ホームや清掃事務所車庫にはAED(自動体外式除細動器)機能付き、中野駅前の四季の森公園にはWi-Fi(公衆無線LAN、無線でインターネットに繋がる)機能付きの自動販売機が設置。これで、**AEDやWi-Fiの整備が区として無償でできる**こととなります。



胃がんハイリスク検診の導入を推進

日本では毎年約12万人が胃がんと診断され、約5万人が亡くなっています。しかし、最近の研究で、**ピロリ菌の感染に伴う慢性胃炎の進行が、胃がんに関連していることが明らかになりました**。胃がんハイリスク検診は簡単な血液検査でピロリ菌の有無と慢性胃炎の程度を調べ、除菌することで胃がんの発生を抑制できると期待されています。公明党は、ピロリ菌除菌の保険適用の拡大を求め100万人を超える署名を推進。本年2月21日からは慢性胃炎の場合も保険対象となりました。

1人当たり数万円の全額自己負担が、今後は窓口での支払いが3割負担の人の場合、6000円程度となります。保険適用の決定を受け白井ひでふみは中野区における胃がん検診を改め、新しい胃がんハイリスク診査(ABC検査)を導入すべきと議会質疑に取り上げ、予算要望項目としてまいりました。区は本年6月よりABC診査を導入。**対象年齢の方は自己負担500円**で診査を受けることができます。

胃がんハイリスク診査

対象 40・45・50・55・60・65・70・75歳の方

検査内容

問診・血液検査(血清ペプシノゲン検査・血清ヘリコバクターピロリIgG抗体検査)

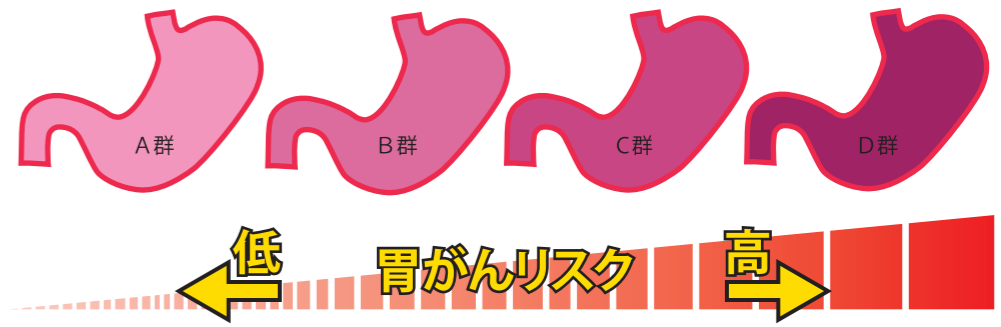
費用

自己負担金 胃がんハイリスク診査 500円(免除制度あり)

胃がんハイリスク診査について

胃がんハイリスク診査は、血液検査によりピロリ菌感染の有無(血清ヘリコバクターピロリ菌抗体)と胃粘膜萎縮の程度(血清ペプシノゲン値)を測定することで胃がんの発生リスクをA~Dの4群に分類しそのリスクに応じた検査等を行うことで、より効果的に胃がんの予防や早期発見を図ることを目的としています。血液による簡便な検査で、国保特定健診などと同時に行うこともできます。なお、この検査は胃がんになりやすい状態かどうかを調べるためのもので、直接胃がんを見つけるものではありません。

ピロリ菌に感染した胃の経過と胃がんリスクの関係



総合判定	異常なし	要精密検査(胃内視鏡検査)		
	A群	B群	C群	D群
ペプシノゲン検査(PG検査)	陰性(-)	陰性(-)	陽性(+)	陽性(+)
ヘリコバクター・ピロ抗体検査(抗体検査)(HP検査)	陰性(-)	陰性(-)	陽性(+)	陰性(-)
胃の状態	正常な胃(健康)	ピロリ菌に感染(健康な胃粘膜)	胃粘膜が萎縮し始める(弱った胃粘膜)	ピロリ菌が生育できない(かなり弱った胃粘膜)